

乳幼児サポート調査票(再判定用)【児童発達支援・医療型児童発達支援】

R4.1版

ふりがな		児童の生年月日		記入日	
利用児童氏名		H	年 月 日	R	年 月 日
保護者氏名		R			
事業所名				事業所担当者名	
事業所連絡先					

＜ご記入にあたって＞

- ・ 再判定が必要と思われる児童が利用していて、再判定を事業所が希望する場合は、必ず事業所から保護者に状況や必要性等を十分に説明したうえで事業所と保護者が、「乳幼児サポート調査票等」を作成の上、保護者から直接、各区福祉保健センターに提出してください。
- ・ 保護者や慣れている支援者がいない状況や初めての場所での状況を想定して記入してください。
- ・ できたりできなかったりする場合、できない状況に基づいて記入してください。
- ・ 装具等の福祉用具を使用している場合、使用している状況に基づいて記入してください。

該当する項目のいずれかに、チェック ☒ をつけ、具体的な状況を記入してください。

NO.	項目		<input checked="" type="checkbox"/>	具体的状況をご記入ください
1	食事	全介助		
		一部介助		
		介助なし		
2	排せつ	全介助		
		一部介助		
		介助なし		
3	入浴	全介助		
		一部介助		
		介助なし		
4	移動	全介助		
		一部介助		
		介助なし		

裏面あり

- * 各項目の複数の内容に該当する場合は、頻度の多い状況に基づいて選択肢を選んでください。
 * 支給決定に必要な調査項目ですので、すべての方に記入をお願いしています。

NO.	項目	選択肢	✓	具体的状況をご記入ください
5	強いこだわり、多動、パニック等の不安定な行動または危険の認識を欠く行動	ほぼ毎日		
		週1回以上		
		なし		
6	睡眠障害又は食事もしくは排泄に係る不適応行動（多飲及び過飲を含む）	ほぼ毎日		
		週1回以上		
		なし		
7	自分や他人の身体を叩いたり傷つけたりする行為または器物損壊行為	ほぼ毎日		
		週1回以上		
		なし		
8	気分がふさぎ込んだ状態または思考力が低下した状態	ほぼ毎日		
		週1回以上		
		なし		
9	反復的行動（再三の手洗いまたは繰り返し確認を含む）	ほぼ毎日		
		週1回以上		
		なし		
10	対人面の不安緊張、感覚過敏、集団への不適応または引きこもり	ほぼ毎日（常に支援が必要）		
		週1回以上（支援が必要な場合がある）		
		なし（支援不要）		
11	読み書きが困難な状態（学習障害によるものを含む）	常に支援が必要		
		支援が必要な場合がある		
		支援不要		

記入項目は以上です。申請書と一緒に、区役所宛てご提出ください。

区役所記入欄	3歳未満 （2つ以上で該当）	NO.1～4の全介助又は一部介助の該当項目数		確認者		受理印
	3歳以上 （A:1つ以上かつ B:1つ以上で該当）	A	NO.1～4の全介助又は一部介助の該当項目数			
		B	NO.5～11のほぼ毎日（常に支援が必要）又は週1回以上（支援が必要な場合がある）の項目数			

乳幼児サポート調査票【児童発達支援・医療型児童発達支援】項目の説明

R4.1版

- * 各項目の複数の内容に該当する場合は、頻度の多い状況に基づいて選択肢を選んでください。
- * 支給決定に必要な調査項目ですので、すべての方に記入をお願いしています。

NO.	項目	選択肢	項目の説明と具体例
1	食事	全介助	<ul style="list-style-type: none"> ・食事に関する一連の行為の全てを自分で行えないため、全面的(常時)に支援が必要 ・食事に関する一連の行為の目的や内容を理解していない
		一部介助	<ul style="list-style-type: none"> ・食事に関する一連の行為の一部を自分で行えないため、部分的に支援が必要(見守りや声かけ等の支援を含む) ・食事を開始する前に、食べ物を食べやすくする等の支援を行っている
		介助なし	<ul style="list-style-type: none"> ・何らかの支援がなくても、食事に関する一連の行為の全てを自分で行うことができる
2	排せつ	全介助	<ul style="list-style-type: none"> ・排泄に関する一連の行為(尿意や便意を伝えることから排泄後の後始末まで)の全てを自分で行えないため、全面的(常時)に支援が必要 ・排泄に関する一連の行為の目的や内容を理解していない ・清拭行為が不十分なため、全面的にやり直している ・ストマ、おむつ、尿とりパット等を使用したり、尿カテーテルを留置していて、全面的に支援を受けている ・支援者等が間欠導尿を行っている ・おむつ等を使用したり、人工肛門を造設していて、全面的に支援を受けている ・支援者等が浣腸、摘便を行っている
		一部介助	<ul style="list-style-type: none"> ・排泄に関する一連の行為(尿意や便意を伝えることから排泄後の後始末まで)の一部を自分で行えないため、部分的に支援が必要(見守りや声かけを含む) ・清拭行為が不十分なため、部分的にやり直している ・尿意・便意はないが、時間を決めるなどして、排泄に関する一連の行為を自分で行っている
		介助なし	<ul style="list-style-type: none"> ・何らかの支援がなくても、排泄に関する一連の行為の全てを自分で行うことができる
3	入浴	全介助	<ul style="list-style-type: none"> ・入浴に関する一連の行為(脱衣から着衣まで)の全てを自分で行えないため、全面的(常時)に支援が必要(見守りや声かけ等の支援を含む) ・入浴に関する一連の行為の目的や内容を理解していない ・身体や髪、顔を洗う・拭く行為が不十分なため、全面的にやり直している ・医療上の必要により入浴を禁止されており、配慮しながら清拭が必要 ・その他の事情で清拭しか行えない
		一部介助	<ul style="list-style-type: none"> ・入浴に関する一連の行為(脱衣から着衣まで)の一部を自分で行えないため、部分的に支援が必要 ・「身体や髪、顔を洗う・拭く」行為が不十分なため、支援者等が部分的にやり直している
		介助なし	<ul style="list-style-type: none"> ・何らかの支援がなくても、入浴に関する一連の行為(脱衣から着衣まで)の全てを自分で行うことができる
4	移動	全介助	<ul style="list-style-type: none"> ・支援者等による対象者の身体に触れる支援が全面的に必要(支援者等による対象者の身体に触れる支援を行った上で移動をする必要がある) ・転倒防止等のため、移動中は常に抱っこや手をつなぐ等、常時の付き添いが必要 ・医療上の必要により、自力での移動を禁止されている
		一部介助	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で移動はできるが、部分的に支援が必要(見守りや声かけ等含む)
		介助なし	<ul style="list-style-type: none"> ・何らかの支援がなくても、自分で移動ができる

5	強いこだわり、多動、パニック等の不安定な行動または危険の認識を欠く行動	ほぼ毎日	【大声・奇声を出す】 周囲が驚いたり、他の人が迷惑となるような大声や奇声を出す ／物などを使って周囲に不快な音を立てる 【多動・行動停止】 特定の物や人に対する興味関心が強く、思うとおりにならないと多動になったり、こだわって動かなくなってしまう 【不安定な行動】 予定や手続き、日頃から慣れている人や状況等が変わることが受け入れられず、突然大声を出したり、興奮する等のパニック状態になる等、行動が不安定になる 【突発的な行動】 関心が強い物や人を見つけたら、突然走ってしまう等、突発的な行動がある／危険の認識が弱く、道路への飛び出しや高いところから飛び降りる等の行為がある 【てんかん】 てんかんの診断がある(服薬で発作を予防している場合を含む。)またはてんかんの経過観察をしている
		週1回以上	
		なし	
6	睡眠障害又は食事もしくは排泄に係る不適応行動(多飲及び過飲を含む)	ほぼ毎日	【異食行動】 食べられないものを口に入れたり、飲み込んだりする異食行動がある／異食行動を未然に抑えるため、異食しそうなものを周囲に置かないなど配慮が必要 【過食・反すう】 過食や過飲、拒食、反すう等、食に関する行動上の問題がある 【昼夜逆転(睡眠)】 夜に寝られなかった結果、日中寝てしまう、夜になると活動的となり寝ようとしないう等、昼夜の生活が逆転することで、日中の生活に支障が生じている／頻回に途中で起きる、夜泣きへの対応が必要
		週1回以上	
		なし	
7	自分や他人の身体を叩いたり傷つけたりする行為または器物損壊行為	ほぼ毎日	【自らを傷つける行為】 自分の体を叩いたり、頭を床に打ち付けたりなど、自分の体を傷つける行為がある 【他人を傷つける行為】 他人を叩く、髪の毛を引っ張る、蹴る等、他人を傷つける行為がある／壁を壊したり、物を投げたりする等、他人を傷つける危険性がある／相手を侮辱する等、心理的に相手を傷つける行為がある 【不適切な行動】 興味や関心が優先したり、適切な意思表示ができなかったり、判断能力が不十分だったりする等により、不適切な行為がある(例:急に他人に抱きつく、断りもなく物をもってきてもう、他人をのぞき込む、急に他人に接近するなど)
		週1回以上	
		なし	
8	気分がふさぎ込んだ状態または思考力が低下した状態	ほぼ毎日	・気分が憂うつで悲観的になったり、時には抑うつ気分により思考力が低下し、考えがまとまらないため、日常生活に支障をきたす ・気分の高揚により、様々なことを思いつき、次々と行動に移すが、注意力が散漫であるため、失敗に終わることが多く、社会生活に影響を及ぼす
		週1回以上	
		なし	
9	反復的行動(再三の手洗いまたは繰り返しの確認を含む)	ほぼ毎日	・ある考えに固執し、特定の行為を反復したり、儀式的な行為にとられる等により、動作に時間がかかり日常生活に支障が生じる 例:自分の気になることを何度も聞き返す、くるくる回るものなど等に集中し動けない、上半身を前後に揺らす、ジャンプを繰り返す、決まった道以外を通るとパニックになるなど
		週1回以上	
		なし	
10	対人面の不安緊張、感覚過敏、集団への不適応または引きこもり	ほぼ毎日(常に支援が必要)	【対人面の不安緊張、集団生活への不適応】 人との関係で緊張状態になり、集団生活の場面に参加できなかったり、参加しても行動に移せない ※ 一定期間にわたって引きこもり状態である場合は、「ほぼ毎日」を選択 【感覚過敏】 感覚に過敏さがあるため、特定の物しか食べられない、着ることができないなど配慮が生じる 【説明の理解】 ＜常に支援が必要＞ 例:簡単な口頭での説明も理解が難しい／説明を理解できているか判断できない ＜支援が必要な場合がある＞ 例:簡単な口頭での説明でも理解できないことが多く、説明に応じた行動ができないことが多い／コミュニケーションツールや手話等を用いると、おおむね理解ができる 【コミュニケーション】 ＜常に支援が必要＞ 例:コミュニケーションツール等を用いても、自分の意思の伝達ができない ＜支援が必要な場合がある＞ 例:慣れていない場面等では、口頭でのコミュニケーションが難しく配慮を必要とする ／コミュニケーションツール(絵カード、ICTの活用等)を利用すれば、自分の意思の伝達ができる
		週1回以上(支援が必要な場合がある)	
		なし(支援不要)	
11	読み書きが困難な状態(学習障害によるものを含む)	常に支援が必要	＜常に支援が必要＞ 例:文字の読み書き及び意味の理解に関して全面的に支援が必要 ＜支援が必要な場合がある＞ 例:文字の読み書きや意味の理解の一部を自分で行えないため、部分的に支援が必要(見守りや声かけ等の支援を含む)
		支援が必要な場合がある	
		支援不要	